

経営比較分析表（令和元年度決算）

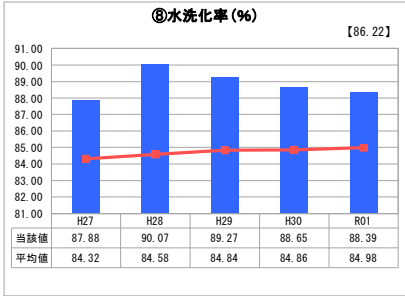
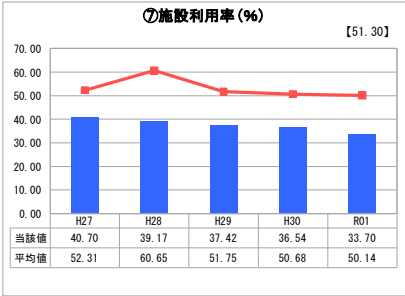
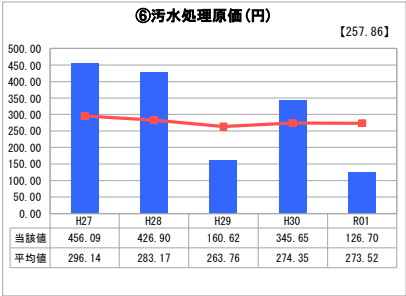
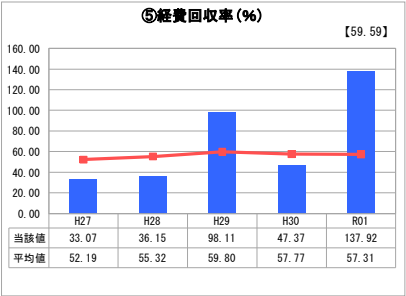
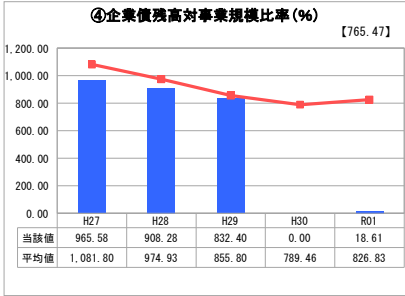
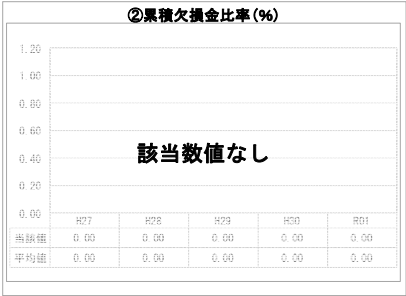
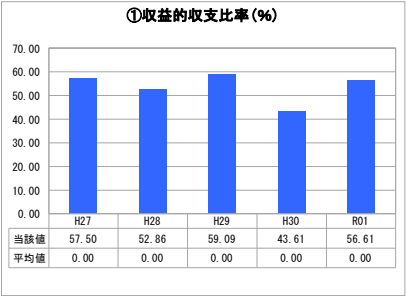
福岡県 八女市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	1.04	100.00	3,800

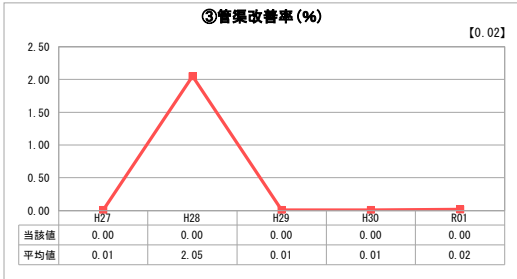
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
62,816	482.44	130.20
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
646	0.33	1,957.58

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率については、令和元年度が打ち切り決算であるため比較するのは難しいが、引き続き維持管理費・委託費の軽減に努めていく。
④企業価値高対事業規模比率については、一般会計からの繰入金により低い数値となっている。
⑤経費回収率については、令和元年度が打ち切り決算であるため比較するのは難しいが、引き続き経費の削減に努めていく。
⑥汚水処理原価については、令和元年度が打ち切り決算であるため比較するのは難しいが、過疎化により有収水量が減ってきており、引き続き維持管理費の軽減に努めていく。
⑦施設利用率は、過疎化による処理量の減により平均値を下回る状況である。
⑧水洗化率は平均値を上回っている状況にあるが、過疎化が進行しているため低下傾向となっており、引き続き状況を見守る必要がある。

2. 老朽化の状況について

農業集落排水施設は15年以上が経過し、老朽化に伴い設備能力の低下が懸念されることから、令和元年度にマンホールポンプ設備67台の機能診断を実施し、修繕時期等の中長期保全計画を策定した。この計画に基づき、ポンプの大量の同時更新や緊急性の回避を図り、計画的なポンプの更新を行っている。
また、施設についても最適整備構想を踏まえ計画していく。
なお、機器等の故障については、早期の修繕で対応していく。

全体総括

令和元年度決算の経営比較分析については、打ち切り決算の関係で比較するのは難しいが、令和2年度より企業会計に移行しており、経営状況の正確な把握に努めていく。
過疎化が進み料金収入が減少し厳しい経営状況になるが、引き続き委託費・維持管理費等の軽減に努め、経費回収率の向上に繋げていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。